

みどりみらい ぐんじとしのりの議会報告

2001/06/15 Vol. 70 西の原 2-3-6-104 TEL/FAX 45-8362
E-MAIL ID / toshigunji@hotmail.com

印西市議会/平成 13 年第 2 回定例会報告 (1)

いつもお世話になっております。印西市議会(6月定例会)は、22日(金曜日)の最終日を残して休会中です。今回から数回にわけて6月定例会の報告を行って参ります。

今回は、「牧の原駅圏」の将来についてのご報告(その1)です。

(この紙面が配布されます頃には、状況が変化しているかもしれませんが、この紙面の作成時には以下に記載している内容に変化はありません。)

6/7(木曜日)に、代表質問に立ちました。以下、市当局の回答です。

* お詫び/前号で私の質問日を「6日」と記載させていただきましたが、前号発行後、議会直前に日程が変更されましたので、皆様にご連絡できず、申し訳ございませんでした。

3. 牧の原駅圏の将来について

- (1) 発表される事になっていた「南口商業施設」については、何ら市民に説明のないまま、2ヶ月が過ぎている。
() 市は市民への説明責任をどのように考えているか。

(回答要旨/市長)

市としても大いに期待しているところではございますので、この2ヶ月の間に、機会あるごとに都市基盤整備公団の関係者に状況をお聞きしているところですが、「ナイーブな状況にあり、実現にむけて協議を継続しているところであるので、今しばらく見守って欲しい」ということで、現時点におきましても、具体的な内容には言及できないとのことでした。市としても、地元の市民の皆様の不安な気持ちを考え、できるだけ早い時期に正確な情報を伝える事が、責務と考えておりますので、これまでも『牧の原地区自治会連合』の役員の方には折りあるごとにご連絡をして状況についてお話しをして参りました。この商業施設は、牧の原駅圏の活性化のみならず、ニュータウン全体、また印西市としても、実現される事が望ましいと考えておりますので、1日も早くこの話しが実現できるように引き続き新住事業者(都市基盤整備公団)に対しまして、要望をして参りたいと思っております。よろしく、ご理解のほどをお願い申し上げます。

- (2) 今後、南側商業施設を含めて南口はどのようになっているのか。

(回答要旨/市長)

牧の原駅圏の活性化につきましては、駅前の賑わいのなさが、各方面からも指摘されており、市としても重要課題として認識しているところであります。こうした事態に対応するため、今回の郊外型の複合商業施設の誘致を行うことは、駅前の活性化や牧の原駅圏の入居・市街化促進を図るものであり、ひいては雇用の創出にもつながり、ニュータウン全体の活性化に資するものと考えておりますので、市といたしましても、1日も早くこの南口商業施設の実現を望むところでございます。南口の利便性の向上にむけて、新住事業者や関係機関等に働きかけをして参りたいと考えております。

(ぐんじとしのりからの再質問)

『自治会連合』の役員に情報を提供しても、(牧の原)居住者には情報が伝わらない。また、『自治会連合』の役員と話をしたこともあるが、市からの連絡は具体的なものでなく、

「居住者に報告できる内容ではなかった」という。文書で情報を出すことは可能か？

(回答) 今後、検討していきたい。

(再質問) 具体的に進出する企業が決定した後は、大店立地法(大規模小売店舗立地法)に従って、出店準備が進むが、印西市は居住者の立場にたって、大店立地法を理解し、企業進出をすすめるか？

(回答) 充分、考慮して行きたいと思います。

(参考)大店立地法(大規模小売店舗立地法)

大店立地法は、運用主体がすべて都道府県となり、出店する大型店から申請を受けた都道府県は、市町村や商工会議所等や地域住民等から広く意見を聞き、その意見を踏まえ1,000m²超の出店に伴う周辺生活環境について審査するという骨子になっています。

大規模小売店舗立地法

周辺地域の環境の保持と生活者利益が主な目的
交通渋滞、駐車場、騒音、廃棄物処理対策などを審査
店舗面積1,000m²を超えるものが審査対象
都道府県が審査し市町村も参加

例えば、牧の原駅南口に7月に出店計画が発表された場合...

出店を計画する大型店は千葉県に計画を提出したら、2か月以内に地元で説明会を開きます。牧の原住民は提出から4か月以内に意見を提出し、これをもとに千葉県が意見をまとめます。計画に異議がなければ大型店は出店できます。異議が出た場合には大型店是对策を示さなければなりません。対策にも2か月以内に再び異議が出されれば、千葉県が大型店に改善を勧告する。勧告に強制力はないが、応じなければ企業名が公表される。

...。 という流れになります。

「応援よろしくお願いします」

先日の政策シンポジウム「にしこおり淳 政治を語る」は大変な盛況のうちに終了することができました。まずはご報告と御礼を申し上げます。

定員300名の会場は一杯になり、補助の椅子も足りなくなるほどで、懇親会も80名の方々がご参加くださり、事務局がすし詰めになるほどでした。

鳩山・菅両氏だけでなく、10名前後の民主党の国会議員や中村敦夫参議院議員をはじめ、島根からは宍道湖でしじみ漁をしている原さん、諫早湾の関係者、車椅子の同期の弁護士など、多くの方々に熱い応援の言葉をいただき、熱気に満ちた幕引きでした。

この集会の感想は、にしこおり淳公式ホームページ <http://www.nisikoori.com/> の「淳Think」のコーナーに日記として掲載されておりますのでお時間があるかたは是非とも、ご覧下さい。

いつもご声援、ご支援ありがとうございます。この紙面へのご批判、ご意見もお待ちいたします。よろしく願い申し上げます。 ぐんじとしのり